

令和3年度出発金沢大学派遣留学生募集要項 [3次募集 (春募集)]

【応募上の注意】新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、募集・選考後にプログラムが中止になる可能性があります。応募する場合は、その旨予めご了承ください。

1. 目的

本学と学生交流の覚書を締結している海外の大学に本学学生を交換留学生として派遣することを目的とする。

2. 派遣期間

学生交流の覚書等に基づく期間を原則とし、3ヵ月以上12ヵ月以下

なお、本募集における留学の開始は、原則として令和4(2022)年1月から3月までの間とし、派遣先大学の学年暦の最初の学期に合わせることを。

3. 対象地域

金沢大学派遣留学 HP (<https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/international/studyabroad/8271/>) に記載されている協定校のうち、オーストラリア、韓国、ブラジルの協定校大学

4. 応募資格

(1) 本学の正規学生 ただし、国費留学生及び外国政府派遣留学生を除く。

(2) 学籍上の取り扱いが「留学」で派遣留学を行う者

※「休学」での派遣留学は認められません。

(3) 原則として、応募する時点の前の学期の学業成績が GPA2.0 以上の者

※今回の募集では2020年度第3クォーターと第4クォーターの学業成績が対象となります。

(4) 協定校において本学の卒業・修了要件となる単位の一部を協定校との単位互換制度を用いて取得しようとする者

(5) 留学期間満了後に本学に戻って学業を継続しようとする者

(6) 留学に耐えうる健康状態にある者

(7) 目的及び計画が明確であり、派遣留学により十分な成果が期待される者

(8) 部局間交流協定校への派遣留学の場合は、当該部局に所属する者

(9) 派遣先大学での学修に支障のない水準の語学力を有する者

(10) 英語を使用する大学への派遣留学を希望する者は、TOEFL-iBT 60点以上、IELTS 5.5以上のスコアを有していること。

ただし、協定校から求められるスコアが上記の点数以下の場合は、この限りではない。

5. 応募方法、提出先

『派遣留学の手引き 2020』で注意事項を確認の上、以下の書類を揃えて所属する学域・研究科の学務担当係へ①～④は電子データ、⑤は原本を提出すること。また、応募に必要な様式は、すべて金沢大学派遣留学 Web サイトからダウンロードして用いること。(金沢大学 Web サイトから「派遣留学」で検索。URL は、<https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/international/formatsforkustudents/>)

※提出前に指導教員やアドバイザー教員等、所属学域・研究科の教員と必ず面談のうえ、応募すること。

① **派遣留学計画書** (手書きではなく、パソコンで作成すること。計3ページ。)

② **派遣留学候補者推薦書** (原則、指導教員又はアドバイザー教員から推薦してもらうこと。)

③ **学業成績証明書** (大学院生で他大学の学部卒業生及び編入学歴のある学生のみ必要。1年次からの分。) ※本学学域在籍者及び卒業生は不要。

④ **語学能力を証明する書類**

i. 派遣希望大学の使用言語が英語の場合は、『派遣留学の手引き 2020』を必ず確認のうえ、2年間の有効期限内の TOEFL-iBT もしくは IELTS のスコアカードの写しを提出すること。(TOEFL-ITP のスコアは受け付けない。)

ii. 派遣希望大学の使用言語が英語以外の場合も、公式に行われる当該言語の検定試験のスコアカード等を可能な限り提出すること。

⑤ **誓約書** (保証人のサインが必要。)

6. 単位互換について

派遣先大学で取得した単位は、帰国後本学において所属学域・研究科の承認が得られれば、卒業・修了要件の単位として認定されます。単位認定が可能な科目等は各学域・研究科によって異なるため、派遣希望の協定大学で提供されている授業科目等について、各大学公式 Web サイト等で情報収集し、留学計画について事前に指導教員や所属学域・研究科の学務係と必ず相談してください。

7. 不測の事態等による派遣の中止・中断

派遣留学を辞退する場合、またはテロ・自然災害、感染症・疫病の流行等の不測の事態が発生し大学の判断で派遣を中止・中断する場合は、理由を問わず、派遣前後に発生した一切の費用（キャンセル料や、中断の場合の帰国旅費を含む）は学生個人の負担となります。（大学側へ請求することはできません。）

※新型コロナウイルス感染症の影響により派遣中止・中断となった場合も上記に該当します。

8. 派遣留学のための奨学金（給付型）

奨学金の詳細は、『金沢大学派遣留学HP』、『派遣留学の手引き 2020』を参照のこと。

※以下の①②の奨学金を希望する場合は、派遣留学計画書の奨学金の項目で「申請を希望する」を選択すること。

<注意！>

①、②については、当該年度の予算によって支給人数が変動します。希望者全員に支給されるものではありません。*日本学生支援機構（JASSO）第二種奨学金（短期留学）制度<貸与型>や、個人で応募が必要な民間奨学金についても、自ら積極的に情報を集め、応募するようにしてください。

*日本学生支援機構（JASSO）第二種奨学金（短期留学）制度<貸与型>の詳細については、学生支援課学生支援係（奨学金担当係：本部棟 2 階）へ問い合わせてください。

- ① 日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）による奨学金
 - 支給月額：6 万、7 万、8 万、10 万円（派遣先地域により異なる。）
 - 対象：日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者、JASSO の算出方法による出発前年度の成績評価係数が 2.3 以上(3.00 満点)の者 ほか
 - 支給予定人数：若干名
- ② スタディアブロード奨学金 学域・大学院派遣枠 a
 - 支給金額：JASSO の成績基準を満たす者：JASSO と同額・同じ給付期間
上記の者であっても予算の範囲を超える場合
および JASSO の成績係数を満たさない者：JASSO と同額を 1 か月分のみ支給
 - 対象：本学に在籍する正規生（日本国籍を持つ者）で、本学と派遣留学制度で学術交流協定を締結する海外の大学へ留学する者、かつ、JASSO 等の外部奨学金を受けられない者
 - 支給予定人数：若干名

9. 応募締切

令和 3 年 5 月 12 日（水） 13：00（時間厳守）

10. 派遣留学候補者の決定

1. 採否の決定通知は、7 月中旬頃の予定。
2. 「外国語のみで卒業できる教育プログラム」在籍者を派遣留学候補者として優先する。
3. 派遣留学先における派遣人数枠を超過した場合、面接選考を行う。該当者には別途連絡する。
4. 派遣希望大学の使用言語が英語の場合、大学の要求する水準に達しない候補者は、採用が取り消されることがある。

本件問合せ先：国際部留学企画課留学推進係（担当：スタンデージ、石村）
TEL:264-6193
E-mail:studyabroad@adm.kanazawa-u.ac.jp

FAQ 派遣留学応募時のよくある質問（3次募集用）

Q 1 : オーストラリア等の英語圏の大学を希望する場合のみ、英語のスコアを提出すればよいのか？

A 1 : いいえ。オーストラリア以外の国へ留学する場合（例：韓国等）も、留学先での使用言語が英語であれば、英語スコアを提出しなければなりません。スコアがなければ、書類不備で不合格となります。また、TOEFL iBT や IELTS は、結果がでるまでには時間がかかります。必ず自分で試験日程を調べて、派遣留学申請締切までにスコアを提出できるよう、計画的に受験してください。

<http://www.ets.org/jp/toefl/ibt/register>

<http://www.eiken.or.jp/ielts/schedule/>

Q 2 : 提出する英語のスコアは、オンラインスコアでもよいのか？

A 2 : 正式な紙のスコアの到着に時間がかかる場合は、オンラインで確認できるスコアを印刷し、提出していただいても構いません。ただし、オンラインのスコアの場合は、名前とスコアが同時にわかるページを印刷してください。スコアと同じページに名前の記載がない場合は、受験表など受験番号と名前が確認できる書類の写しを補足資料として提出してください。正式な紙のスコアを提出する場合は、本紙ではなくコピーを提出してください。

Q 3 : 「派遣留学計画書」はどのように作成すればよいのか？

A 3 : 様式をダウンロードし、パソコンで作成し電子データを提出してください。

（様式 URL : <https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/international/formatsforkustudents/>）

○2 ページ目「5. 派遣留学の目的及び計画等」は以下の書式・内容にしてください。

- ・日本語で記載すること。
 - ・文字の大きさは変えないこと（12ポイント）
 - ・①～⑤のポイントをすべて含めつつ、かつ全体で1ページに収まるようにまとめること。また、箇条書きではなく、文章で作成すること。
 - ①応募理由（なぜ派遣留学に応募したのか）
 - ②派遣留学の目的と達成したい目標
 - ③②の目標を達成するための留学先での学習計画
 - ④派遣留学先の大学でどのような貢献ができるか
 - ⑤帰国後、派遣留学から得た知見・経験をどのように金沢大学に還元できるか。
- ※具体的かつ実現可能な内容を記述すること。

○3 ページ目「6. 志望動機と留学の目的について」は以下の書式・内容にしてください。

- ・派遣留学希望大学において使用予定の言語で作成すること。（「派遣留学計画書 3. 派遣留学希望大学及び留学希望期間」で記載した言語）
- ・文字の大きさは変えないこと（12ポイント）
- ・英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語は300語程度にまとめること。
- ・中国語、韓国語は800文字程度にまとめること。

Q 4 : 「派遣留学の目的及び計画等」には、第一希望と第二希望の大学への両方の志望理由を記載すればよいのか。

A 4 : 第一希望について掘り下げて記載してください。

Q5：第一希望と第二希望で使用言語の違う大学を志望してもよいか？

A5：1 回の募集では、同じ言語を志望してください。同じ使用言語であれば、第一希望と第二希望の国が違って構いません。

- :第一志望 韓国の大学で英語 第二希望 オーストラリアの大学で英語
×:第一志望 韓国の大学で韓国語 第二希望 オーストラリアの大学で英語

Q6：派遣留学先候補校の大学はどこから選べばよいか？

A6：下記 HP で確認してください。（※随時更新します）

【派遣留学先候補校掲載先】 <https://sgu.adm.kanazawa-u.ac.jp/international/studyabroad/8271/>

Q7：派遣留学の奨学金「日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）による奨学金」及び「スタディアブロード奨学金 学域・大学院派遣枠 a」はどうやって申し込めばよいのか。

A7：派遣留学計画書の「奨学金」の項目で、「希望する」を選択してください。受給できる奨学金の種類は、大学が各奨学金の条件等を考慮し決定します。（奨学金の詳細は、「派遣留学の手引き」を参照してください。）

ただし、これらの奨学金はその年度の予算によって支給者数が変動します。希望者全員に支給されるわけではありません。

各奨学金については自ら積極的に情報を集め、応募時期や決定時期も確認したうえで応募するようにしてください。